

課題分析標準項目～基本情報に関する項目～

課題分析標準項目とは、介護支援専門員が主観的な視点で利用者の状況・課題を判断をするのではなく、客観的な視点で課題を抽出できるように考えられたものです。

◆ 基本情報に関する項目

1. 基本情報

基本情報とは、介護支援専門員が居宅サービス計画を作成するにあたり受付を行った日時、利用者や家族の氏名、生年月日などを記入するものです。以下のような項目が記入されている様式を使用するようにしましょう。

①利用者を受付した情報

・受付した日時 ・受付の対応者 ・受付方法等

②利用者の基本情報

・氏名 ・性別 ・生年月日 ・住所 ・連絡先（電話番号等）

③家族等の基本情報

・氏名 ・性別 ・生年月日 ・住所 ・連絡先（電話番号等）

2. 生活状況

生活状況とは、利用者の現在の生活状況をはじめ、これまでの生活歴等を記載するものです。

3. 利用者の被保険者情報

利用者の被保険者情報とは、介護保険に関する情報だけでなく、医療保険等以下の項目も含んで考えます。

- ・介護保険情報
- ・医療保険情報
- ・身体障害者手帳等の情報
- ・生活保護情報 等

4. 現在利用しているサービスの状況

現在利用しているサービスの状況とは、「介護保険サービスの利用状況」と考えてしまいがちですが、インフォーマルサービスつまり介護保険外の利用されているサービスについても記入するようにしましょう。例えば、往診を利用されているなど医療的なこと、地域独自で行われている宅配弁当サービスを利用されているなどあれば記入しておきましょう。

5. 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度について記入しておきましょう。

6. 認知症である高齢者の日常生活自立度

認知症である高齢者の日常生活自立度について記入しておきましょう。

7. 主訴

介護サービスを利用するにあたり、利用者や家族の主訴・要望を記入しましょう。実際に利用する予定の介護サービスの内容を書き連ねる事は主訴・要望ではないので、「～なので、～のサービスを利用を考えたい」といった具合に記入するようにしましょう。

8. 認定情報

介護保険証に記載されている介護保険情報、認定結果を転記しましょう。

・要介護状態区分 ・審査会の意見 ・支給限度額等

9. 課題分析（アセスメント）の理由

課題分析を行う理由（初回・定期更新・退院退所・介護サービスの追加、変更等）を記入しましょう。

◆ 課題分析に関する項目

10. 健康状態

利用者の健康状態について記入しましょう。主治医の意見書に記載されている病名を転機するだけでは、正しく健康状態を把握しているとは言えません（例えば、複数の病院を受診されているケースで、主治医の意見書は内科医が記入しているが、整形外科にも受診されており、整形外科でのことには何も触られていないなどの場合があります）。利用者やその家族からも聞き取りの上、症状や痛み等の具体的なことを含めて記入するようにしましょう。

・既往歴　・主傷病　・症状　・痛み等

11. ADL

ADLとは、日常生活動作（Activities of Daily Living）の略で、寝返り・起き上がり・移乗・歩行・着衣・入浴・排泄等の日常の生活を送るために必要な基本動作のことです。身体活動能力や障害状態の重要な指標となります。

12. IADL

IADLとは、手段的日常生活動作（Instrumental Activity of Daily Living）の略で、調理・掃除・買い物・金銭管理・服薬状況等の日常生活上の動作のことです。趣味等も含めて記入するようにしましょう。

13. 認知

認知症と診断されているかどうかだけではなく、日常生活において意思決定を行うための認知能力の程度を記入しましょう。

14. コミュニケーション能力

意思の伝達・視力・聴力などのコミュニケーション能力を記入しましょう。

15. 社会との関わり

社会活動への参加意欲・喪失感・孤独感などを記入しましょう。

16. 排尿・排便

排尿・排便の頻度、コントロール、後始末、失禁・失便の状況などを記入しましょう。

17. じょく創・皮膚の問題

じょく創の程度、皮膚の清潔状況等を記入しましょう。

18. 口腔衛生

歯・口腔内の状態、口腔衛生について記入しましょう。

19. 食事摂取

水分摂取量・栄養状態・食事回数等に食事摂取状況について記入しましょう。

20. 問題行動

暴言暴行・徘徊・介護者への抵抗・収集癖・火の不始末・不潔行為・異食行動等の問題行動があれば記入しましょう。

21. 介護力

介護者の介護力（介護者の有無・主な介護者に関する情報・介護の意思・介護負担の程度等）を記入しましょう。

22. 居住環境

利用者の住居環境（自宅の状況・住宅改修の必要性等）を記入しましょう。

23. 特別な状況

利用者について特記しておくべき特別な状況（虐待を受けている・ターミナルケア等）を記入しましょう。